

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	第5次朝霞市総合計画策定委員会（第2回）
開催日時	令和元年10月28日（月） 午前9時6分から 午前10時13分まで
開催場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室
出席者	<p>神田市長公室長、村山危機管理監、上野総務部長、宮村市民環境部長、三田福祉部長、麦田こども・健康部長、小酒井都市建設部長、田中会計管理者、木村上下水道部長、木村議会事務局長、二見学校教育部長、比留間生涯学習部長、渡辺監査委員事務局長</p> <p>（事務局） 永里政策企画課長、新井同課長補佐、櫻井同課専門員兼政策企画係長、松尾同課同係主査、村岡同課同係主事</p>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎調査の結果について 2 市民意識調査・青少年アンケートとの結果について 3 分野別市民懇談会等の結果について 4 今後の進め方について
会議資料	<p>【2-1】人口動態及び人口推計の概要（速報版）</p> <p>【2-2】財政分析結果（案）</p> <p>【2-3】社会の潮流の整理（日本社会の動向編）</p> <p>【2-4】社会の潮流の整理（個別分野編）</p> <p>【2-5】まちづくりの課題整理</p> <p>【2-6】市民意識調査・青少年アンケート結果報告書（案）</p> <p>【2-7】市民意識調査・青少年アンケート結果報告書別冊（案）</p> <p>【2-8】市民意識調査・青少年アンケート結果報告書（案）ポイント</p> <p>【2-9】分野別市民懇談会開催報告（案）</p> <p>【2-10】小中学生の声を聴く機会 実施報告（案）</p> <p>【2-11】青少年の声を聴く機会 実施報告（案）</p> <p>【2-12】キーパーソン・ミーティング実施状況・報告</p> <p>【参考資料】今後の朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p>

会議録の 作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
その他の 必要事項		
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）		
<p>【議題】</p> <p>1 基礎調査の結果について</p> <p>2 市民意識調査・青少年アンケートの結果について</p> <p>3 分野別市民懇談会等の結果について</p> <p>【説明】</p> <p>（事務局：松尾政策企画課主査） （【資料2-1】から【資料2-5】について説明した。）</p> <p>（事務局：櫻井政策企画課専門委員兼政策企画係長） （【資料2-6】から【資料2-8】について説明した。）</p> <p>（事務局：新井政策企画課長補佐） （【資料2-9】から【資料2-12】について説明した。）</p> <p>【意見】</p> <p>（上野総務部長） 資料2-2の財政分析結果の17ページ、「財務分析により、朝霞市財政について以下のことがあきらかになった。」とし、その下では「財政が硬直化している恐れがある。」としている。結論に「恐れがある」という表現は適当ではないため、文章を見直すべきである。</p> <p>（二見学校教育部長） 資料2-4の74ページ、76ページについて、教員1人あたりの小学校児童数、中学校生徒数について、「教員数に対する中学校の生徒数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回る水準にあるため、朝霞市の中学校の教育環境は、埼玉県において相対的に教師の目が</p>		

生徒一人ひとりに行き届きにくい環境であると考えられる。」とあるが、教員の数は、児童、生徒数に対してではなく、学級数に対して割り当てられるものである。したがって、朝霞市は生徒の数が多いが、教師の目が生徒一人ひとりに行き届きにくいとは、断言できない。

(麦田こども・健康部長)

資料2-4の72ページ、教育分野の切り口としての幼稚園数についてだが、幼稚園だけを出して幼児期の教育を分析するのは、今の時代にはふさわしくない。

(小酒井都市建設部長)

資料2-5について、「都市計画を見直す必要がある。」「量の最適化」等が特だして書かれているが、見直すという言葉ではなく、内容を具体的に書き表す方がいいのではないか。公共施設とインフラについては、戦後急ピッチで進められた公共施設とインフラが一斉に老朽化を迎えることが大きな課題である。どのように計画的に長寿命化を図っていくか、安全・安心についての市民の関心も高いことであるため、書き方を工夫すべきである。

(木村上下水道部長)

資料2-4の40ページ。「水道の基幹管路の耐震化率」は26.3%ではない。もっと高い数字である。それに伴い、資料2-5の文章も変更になると考えられる。また、「人口千人あたりの非水洗化人口」について、水洗化人口を上げるために施策を講じているので、指標を水洗化人口等に変更したい。

(上野総務部長)

財政について、資料2-2と資料2-4の分析結果の整合を図る必要がある。

(神田市長公室長)

最終的には、全体を取り込んだ文章にまとめていかななくてはならないため、全て連続的な考察を行ったことが前提となる。所管部署から意見をいただいて、資料をもう一度整理することとしたい。今後の流れについて事務局より説明されたい。

【議題】

4 今後の流れについて

【説明】

(事務局：永里政策企画課長)

今後の進め方についてだが、まず、基本構想の見直しについてである。説明させていただいた、基礎調査、市民意識調査、市民懇談会等を踏まえた上で、事務局としては、現時点では基本構想の見直しは必要ないものとして後期計画の策定を進めたいと考えている

が、庁内及び審議会でも御意見を伺いたいと考えている。

資料２－１３をご覧ください。１１月中旬までに各部会を開催して、事務局が部会員にも調査結果等について説明するとともに、基本構想の見直しについて意見を伺いたい。その前に、部会員に本日の資料等を配布し、確認をしていただきたいと思います。審議会については、１１月１５日（金）に第３回を開催する。審議会でも調査結果等の説明をするとともに、御意見を伺う予定である。

【意見】

（神田市長公室長）

社会の潮流も含めて、基本計画の中の前提条件に書き込むことを理解しておいていただきたい。

（宮村市民環境部長）

１１月１５日の審議会までに各部会から資料への修正意見を提出するということか。

（事務局：永里政策企画課長）

そのようにお願いしたい。

（事務局：新井政策企画課長補佐）

本日と同じ資料を部会員に配布し、修正意見をまとめていただきたい。部会には事務局も同席し資料について説明させていただきたい。

（事務局：永里政策企画課長）

参考資料として配布している「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との統合については、まち・ひと・しごと創生本部で了承をいただいているとおり、後期の総合計画と統合する方向で考えている。

１２月には国の方の第２期総合戦略が示される予定であり、国及び県の戦略を踏まえて具体的な検討に入っていきたいと考えている。

（神田市長公室長）

部会から修正意見を出していただき、資料を修正する。修正後は必ず情報提供を行う。

【閉会】